



## 2007 年度 公共政策大学院 交換留学生募集要項

協定校	 <p>SIPA School of International and Public Affairs Columbia University</p> <p>コロンビア大学 国際公共政策大学院 (SIPA) <a href="http://www.sipa.columbia.edu/">http://www.sipa.columbia.edu/</a></p>	 <p>Lee Kuan Yew School of Public Policy</p> <p>シンガポール国立大学 (NUS) リー・クワンユー公共政策大学院 (LKY-SPP) <a href="http://www.spp.nus.edu.sg/">http://www.spp.nus.edu.sg/</a></p>
所在地	アメリカ合衆国、ニューヨーク	シンガポール
募集期間	2007 年 2 月 13 日 ~ 4 月 12 日	2007 年 2 月 13 日 ~ 4 月 12 日
募集人員	1~2 名	1~2 名
派遣期間 派遣人数によ って期間がかわり ます。	2007 年 9 月 ~ 2007 年 12 月 2007 Fall Term 2007 年 9 月 ~ 2008 年 6 月 Academic Year 2007-2008	2007 年 8 月 ~ 2007 年 12 月 2007 Semester 1 2007 年 8 月 ~ 2008 年 5 月 Academic Year 2007-2008
東大での身分	「留学」	
派遣先での身分	聴講生 (non-degree student)	
授業料	派遣先では不徴収。東大では授業料を納入。	
単位認定	東大で「留学」の場合は、単位認定申請により認められた場合は認定。	
奨学金制度	東京大学国際学術交流活動等奨励事業による奨励費支給 (2006 年度実績)	
応募資格	<p>東京大学公共政策大学院に在籍する学生であること TOEFL スコア: CBT 250 点 (iBT 100 点、PBT 600 点) 以上が望ましい。最低 でも CBT 230 点以上は必要。 SIPA では、基礎的なミクロ経済・マクロ経済を履修済みの者。 LKY-SPP では、基礎的なミクロ経済を履修済みの者。</p>	
応募書類 公共政策大学院 提出用	<p>海外交換留学応募用紙 <a href="#">ダウンロード</a> 成績証明書 (英文) TOEFL 成績証明書 (写) 各大学への提出書類は合格者に直接通知する。</p>	
応募書類提出先	公共政策大学院 大学院係 email: <a href="mailto:exchange07@pp.u-tokyo.ac.jp">exchange07@pp.u-tokyo.ac.jp</a>	
スケジュール (予定は変更され る場合があります)	<p>募集: 2 月 13 日 ~ 4 月 12 日 正午 書類選考: 4 月中旬 東大教員の面接: 4 月中旬 SIPA 教員の面接 (ある場合): 4 月 SIPA への書類提出: 4 月 21 日必着 SIPA より合格者決定: 4 月下旬 東大への書類提出期限: 4 月 30 日 東京大学からの正式決定: 5 月中旬 VISA 手続き、その他準備: 5 ~ 7 月 出発: 8 月 授業開始: 9 月 3 日</p>	<p>募集: 2 月 13 日 ~ 4 月 12 日 正午 書類選考: 4 月中旬 東大教員の面接: 4 月中旬 GraSPP 側で合格者決定: 4 月中旬 NUS へのオンライン申請: 4 月 15 日 東大への書類提出期限: 4 月 30 日 LKY-SPP への書類提出: 5 月 1 日 東京大学からの正式決定: 5 月中旬 VISA 手続き、その他準備: 5 ~ 7 月 出発: 8 月 授業開始: 8 月 13 日</p>

## 募集開始・応募締め切りについて

公共政策大学院在学学生、新入生の募集期間は、2007年2月13日(火)～4月12日(木) 正午です。応募及びお問い合わせは電子メールにて受け付けます。

# 大学別応募要領

## 1. コロンビア大学国際・公共政策大学院との交換留学制度

### 1.1. 特色

コロンビア大学は、ニューヨーク市マンハッタン島にあることから、国際的なビジネス・国際金融センターに関連する分野、国際連合本部などを通じた国際開発分野などに、強みがあります。SIPAホームページ<http://www.sipa.columbia.edu/>

### 1.2. 趣旨と前提条件

この交換留学制度は、東京大学公共政策大学院に在籍中の学生が対象です。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、英語も十分できる学生が、その語学を生かして東京大学公共政策大学院とは異なる環境で学習することです。その趣旨を十分ご理解のうえ、応募ください。おもな前提条件は、TOEFL(コンピューター・ベース)で最低250点、ミクロ・マクロ経済学の、最低基礎レベル(学部で学習済みでも構わない)を履修済みであることです。コロンビア大学SIPAでは、全員に、一年次にミクロ・マクロ経済学の履修を義務付けているので、対等の基礎学力を前提とするためです。

### 1.3. 留学中の身分と授業料

この交換留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、コロンビア大学へ留学していただきます。授業料は東京大学へ支払い、帰国後にコロンビア大学において履修した科目を東京大学において単位認定する予定です。(現在は、帰国後に申請して認める方式をとっていますが、この交換留学制度においては、2年修了を確実にするために単位互換の条件付事前承認の可能性を探りますが、未だ決定ではありません。)コロンビア大学では、学位をとらない特別身分の学生で、コロンビア大学へは授業料を支払いません。(現在、東大とSIPAのダブル・ディグリー制度を導入すべく検討を進めていますが、大規模な制度調整が必要となりますので、2007年度はまだ実現できません。)

東京大学では、入学後に「休学」という身分で、他大学院へ留学すると、休学の期間は授業料が免除されますが、その期間は在学年数に算入されず、留学先で履修した科目を帰国後に単位認定することはできません。

### 1.4. 留学のモデルコース

留学期間は、最長1年間です。SIPAの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。留学して、単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策大学院での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。

(A) 二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B) (学部時代に十分な経済学を学習して入学した) 一年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。

なお、東京大学での在籍が3年間にわたっても構わないという場合には、(C)二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。  
日程については、下記 URL を参照してください。

<http://www.columbia.edu/cu/registrar/docs/students/academic-calendar/year2.html>

### 1.5. 費用

前述のように、SIPA留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、コロンビア大学では、授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、コロンビア大学学生として当然かかる経費すべては、自己負担となります。住居を探すための情報提供はコロンビア大学において、そのための部署があります。どれくらいの生活費がかかるかについての試算もあります。いずれもコロンビア大学のホームページから検索してください。費用をはじめ、ビザ、保険、NYでの住居その他についての情報は、コロンビア大学ISSO (International Students and Scholars Office) ホームページの”COMING TO COLUMBIA”を読んで参考にしてください。 <http://www.columbia.edu/cu/isso/incoming/>

各種保険の比較サイト

<http://www.i-hoken.jp/index.html>

### 1.6. 留学先の提供する授業について

コロンビア大学SIPAのホームページなどで、ご自身で検索・確認してください。

[http://sipa.columbia.edu/academics/sipa\\_registration/mpa\\_registration\\_guide.pdf](http://sipa.columbia.edu/academics/sipa_registration/mpa_registration_guide.pdf)

[http://www.sipa.columbia.edu/academics/understanding\\_course\\_listings.htm](http://www.sipa.columbia.edu/academics/understanding_course_listings.htm)

|

### 1.7. 選抜方法と時期

2007年度は、新2年生、新入生の募集を同時に始め、4月中旬に選抜を考えています。書類審査と面接審査の2段階となります。面接審査では、東京大学教員の面接に加えて、来日中のコロンビア大学の教員との面接、もしくは電話によるインタビュー方式となる可能性もあります。今後随時、情報提供していきますので、この掲示に気をつけてください。選抜後の登録手続きは、ホームページなどで確認の上、各自の責任において行ってください。

[http://sipa.columbia.edu/academics/sipa\\_registration/registration\\_handbook.pdf](http://sipa.columbia.edu/academics/sipa_registration/registration_handbook.pdf)

## **2. シンガポール国立大学リー・クアンユー公共政策大学院 (LKY-SPP)**

### 2.1. 特色

LKY-SPP では、東南アジア諸国からの留学生が多く学習しており、多くのアジア諸国の学生と肩をならべて学習できる利点があります。

LKY-SPPホームページ<http://www.spp.nus.edu.sg/index.htm>

<http://www.nus.edu.sg/registrar/prospective/non-graduating.htm#welcome>

### 2.2. 趣旨と前提条件

この交換留学制度は、東京大学公共政策大学院に在籍中の学生が対象です。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、英語も十分

できる学生が、その語学を生かして東京大学公共政策大学院とは異なる環境で履修、学習することです。その趣旨を十分ご理解のうえ、応募ください。おもな前提条件は、TOEFL(コンピューター・ベース)で最低250点、ミクロ経済学の、最低基礎レベル(学部で学習済みでも構わない)を履修済みであることです。LKY-SPPでは、全員に、一年次にミクロ経済学の履修を義務付けているので、対等の基礎学力を前提とするためです。

### 2.3. 留学中の身分と授業料

この交換留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、LKY-SPPへ留学していただきます。授業料は東京大学へ支払い、帰国後にLKY-SPPにおいて履修した科目を東京大学において単位認定する予定です。(現在は、帰国後に申請して認める方式をとっていますが、この交換留学制度においては、2年修了を確実にするために単位互換の条件付事前承認の可能性を探りますが、未だ決定ではありません。)LKY-SPPでは、学位をとらない特別身分の学生で、シンガポール国立大学へは授業料を支払いません。(現在、東大とLKY-SPPとのダブル・ディグリー制度を導入すべく検討を進めていますが、大規模な制度調整が必要となりますので、2007年度はまだ実現できません。)

東京大学では、入学後に「休学」という身分で、他大学院へ留学すると、休学の期間は授業料が免除されますが、その期間は在学年数に算入されず、留学先で履修した科目を帰国後に単位認定することはできません。

### 2.4. 留学のモデルコース

留学期間は、最長1年間です。LKY-SPPの授業期間は、おおよそ、秋学期は、8月第2週より12月まで、春学期は、1月から5月です。留学して、単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策大学院での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。

(A)二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B)(学部時代に十分な経済学を学習して入学した)一年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。

なお、東京大学での在籍が3年間にわたっても構わないという場合には、(C)二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。

日程については、下記URLを参照してください。

<https://team.nus.edu.sg/registrar/info/calendar/AY2007-2008.pdf>

### 2.5. 費用

前述のように、LKY-SPP留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、LKY-SPPでは、授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、LKY-SPP学生として当然かかる経費すべては、自己負担となります。学生寮は、NUSの寮は抽選制です。このほか、LKY-SPPの学生専用の寮(一軒家をシェアする)も大学近くにあります。寮の費用は日本円でひと月約6万円です。

### 2.6. 留学先の提供する授業について

LKY-SPPのホームページなどで、ご自身で検索・確認してください。

[http://www.spp.nus.edu.sg/degree\\_prog\\_intro.htm](http://www.spp.nus.edu.sg/degree_prog_intro.htm)

### 2.7. 選抜方法と時期

2007年度は、新2年生、新入生の募集を同時に始め、4月中旬に選抜を考えています。書類審査と面接審査の2段階となります。面接審査では、東京大学教員の面接に加えて、シンガポール国立大学の教員との間で、電話インタビュー方式となる可能性もあります。**NUS 側の交換留学オンライン申請の締切りは4月15日、添付書類の締切りは5月1日となっていますので、注意してください。**今後随時、情報提供していきますので、この掲示に気をつけてください。選抜後の登録手続きは、ホームページなどで確認の上、各自の責任において行ってください。

<http://www.nus.edu.sg/registrar/prospective/non-graduating/generalinstructions.htm>

<https://aces01.nus.edu.sg/ngAdmForm/index.jsp>

<https://team.nus.edu.sg/registrar/info/ng/NGCheckList.pdf>